

グローバル化するモノづくりの仕事

さらに広がるグローバルな活躍フィールド

グローバル化が急速に進行する経済環境下で多くの企業が海外展開を加速させています。グローバル環境下のモノづくりの現場では、どんな人材が活躍し、どのような力が求められるのか——近年グローバル展開を積極的に推進しているサントリーホールディングス株式会社 生産研究企画部 矢野哲次氏と人事部 前田大輔氏に話を聞きました。



世界を舞台に活躍するサントリーグループの技術者



Q1.仕事内容について

私が手掛けているのは、海外グループ会社の包装設計です。品質改善、トラブル解析、コストダウンの提案など、包材設計に関わる様々な活動も行っています。日本国内では経験出来ないような大きなコストダウンや、

実現が難しいとされている新規技術の導入や新規設計など、新しいことにチャレンジ出来る、非常にやりがいのある仕事です。

Q2.仕事のやりがい、印象に残っているエピソードなど

包材品質やコストに対する考え方は、日本と海外では大きく異なり、日本での「当たり前」が海外のメンバーにはなかなか伝わりません。相手の価値観や考えを尊重しながらも、自分の意思を貫き通し、いかにwin-winの関係を築けるかを日々模索しています。しかし、自分たちの思いが上手く伝わり、海外のメンバーと連携して最適な包材設計やトラブル改善が実現出来た場合は、圧倒的な達成感を味わうことが出来ます。グローバルサントリーの品質を支えているという誇りを持って私たちは日々楽しみながら、チャレンジしています。苦勞して立ち上げた製品を海外に行って目にしたときの喜びは格別ですよ。

サントリービジネスエキスパート
株式会社 包材開発部
村瀬 達也(入社6年目)
東北大学 工学部・工学研究科 卒

パッケージ
エンジニア



Q1.仕事内容について

海外向けの茶製品全般を担当しています。仕事は各国の駐在員の方を窓口、実際の味作りを現地の方と一緒にすることもあり、海外出張・WEB会議・メールなど、日本と同じように様々な形でコミュニケーションを取

りながら進めています。商品開発を行うにあたっては、魅力的で今までにないものを提供すること、また各国の、メンバーの意見・お客様の評価を尊重しながら、自分自身が美味しいと思う味わいを作り上げることを大切にしています。

Q2.仕事のやりがい、印象に残っているエピソードなど

タイで『みらい』という緑茶飲料を発売した際に、当初はなかなか売れ行きが伸びませんでした。その要因を解析して提案した新製品『TEA+』を、今年の9月に発売したのですが、現時点での販売推移は非常に好調です。違う歴史、食文化を有するタイの市場で、「本当に売れる商品を作れるのか」という不安もあった中での開発でしたが、現状を把握し、さらに新しい挑戦をすることによって新市場を切り拓くことが出来る、と改めて感じました。

サントリー食品インターナショナル
株式会社 食品事業部国際商品開発部
山西 康弘(入社13年目)
大阪大学大学院 理学部化学科 修了

茶飲料の
商品開発

サントリーホールディングスにおける
グローバル展開の現状について聞か
せてください

矢野 近年、サントリーはグローバル展開を本格的に進めており、2009年にはフランス飲料大手のオランジーナ・シウウェブス社、ニュージーランド飲料大手のフルコア社を相次ぎ買収しました。そのほかタイ、シンガポール、ベトナムといった東南アジアにおける拠点展開も進めるなど、全世界で積極的に事業の拡大を図っています。現在、サントリーホールディングスの海外における関連会社は欧米、アジア・オセアニアなど合計139社にのびります。

海外にかかわるモノづくりの仕事は
どのようなものがあるのでしょうか

矢野 東南アジアなどでは、生産拠点立ち上げのプロジェクトが増加しています。設備設計や生産管理など、安定的に製品を作り出していくためには、当社が国内で蓄積してきたノウハウ・技術は欠かせません。

また、海外向けの製品開発業務
もあります。開発者は担当エリア

に何度も足を運んで現地の食品を食べるなどして人々の嗜好を徹底的に調査し、現地で受け入れられる製品の開発に取り組んでいます。例えば、東南アジアで緑茶飲料を提供していますが現地の嗜好に合わせるために甘みを加え、複数のフレーバーを組み合わせるなどの工夫を行い、マーケットに受け入れてもらえるように努力しています。

グローバルな環境で求められている
はどのような人材なのでしょう

前田 まずは国内でそれぞれの職種に応じた「仕事の基本」を身につけ、グローバルにも通じる専門性という「武器」を持つことが大事です。その上で語学力や多様な文化を受容できる姿勢が求められます。仕事を進めるにしても、価値観、背景、言語の異なる人々と意思疎通するのは想像以上に大変です。日本の「常識」が通じませんから、粘り強くコミュニケーションを取り組んでいくことが重要となります。

当社では、海外で活躍できる人
材を増やすために「トレーニー制

度」を導入しています。これは、海外の現地法人や日本人が誰もいないような海外拠点に1年くらい勤務し、仕事をしながら現地を体感してもらおうという制度。配属エリアによってはかなり日本と異なる環境の場合もありますが、社員はハングリーさやタフさを身に付けて帰ってきます。そのほかにもMBA、MOT留学制度なども用意しています。

最後に理系学生へ
メッセージをお願いします

前田 サントリーのように、今後さらにグローバル展開を加速させていく日本企業は増えると思われる。特に飲料は未開拓の領域がまだまだ多く、新しいマーケットでわくわくできる仕事、チャレンジングな仕事がたくさん待っています。そんなフィールドで働きたいという方は当社でも大歓迎です。

サントリーホールディングス株式会社
生産研究企画部 矢野哲次
人事部 前田大輔